



2023年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年5月15日

上場会社名 株式会社シンシア
コード番号 7782 URL <https://www.sincere-vision.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 中村 研
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部長 (氏名) 荒井 慎一

TEL 03(5615)9059

四半期報告書提出予定日 2023年5月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第1四半期の連結業績(2023年1月1日～2023年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第1四半期	1,584	16.9	93	145.7	118	79.9	82	85.3
2022年12月期第1四半期	1,355	33.4	37	37.8	66	258.6	44	348.0

(注) 包括利益 2023年12月期第1四半期 97百万円 (26.1%) 2022年12月期第1四半期 132百万円 (124.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第1四半期	13.09	13.04
2022年12月期第1四半期	7.10	7.07

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第1四半期	4,076	2,060	50.5
2022年12月期	3,576	1,987	55.6

(参考) 自己資本 2023年12月期第1四半期 2,060百万円 2022年12月期 1,987百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期		0.00		4.00	4.00
2023年12月期					
2023年12月期(予想)		0.00		10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,898	5.6	303	101.4	296	162.8	205	211.5	32.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期1Q	6,862,200 株	2022年12月期	6,862,200 株
期末自己株式数	2023年12月期1Q	560,511 株	2022年12月期	560,211 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年12月期1Q	6,301,766 株	2022年12月期1Q	6,267,989 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、商品・資源価格の高騰による物価の上昇を受け消費マインドが弱含む一方、新型コロナウイルス感染症の感染症分類5類への引き下げが目前に迫るなど、感染防止対策を継続しながらも、サービス関連消費、インバウンド需要を中心に緩やかな持ち直しの動きが見られる状況となっております。

また、世界経済については、米国を中心とした世界的なインフレの継続や足元で見られる金融セクターの混乱、ウクライナ情勢を始めとした地政学的リスクの高まりに起因するサプライチェーンの制約等を背景に、先行きが不透明な状況が続いております。

コンタクトレンズ業界におきましては、急速な少子高齢化に伴う人口減少が進んでいるものの、1日使い捨てタイプコンタクトレンズへのニーズのシフトが継続していることや近視人口の急激な増加・若年化が進んでいること、また、カラーコンタクトレンズ市場の拡大等もあり、コンタクトレンズ市場全体は緩やかながら成長基調にあるものと推測しております。しかしながら、価格、販路、広告戦略等々における各メーカー間の競争が激化していることに加え、在宅勤務、リモート化によって今までの生活様式が変わりつつあるなど当社を取り巻く環境は厳しい状況が続いております。

このような環境の中、中核のコンタクトレンズ事業においてクリアレンズを中心に販売数が大幅に増加したことなどから売上高が1,584,959千円(前年同四半期比16.9%増)となりました。

利益面につきましては、コンタクトレンズ事業において、輸送費の高騰などの影響があったものの、為替相場が円高傾向で推移したことなどにより仕入コストが減少したことなどから売上総利益率が29.3%(同2.5ポイント増)となり売上総利益は464,796千円(同28.0%増)となりました。販売費及び一般管理費は、コンタクトレンズ事業において積極的な広告宣伝及び販売促進活動を実施したことに加え荷造運賃などの変動費が増加したことなどにより371,523千円(同14.3%増)となったものの営業利益は93,273千円(同145.7%増)となりました。また、営業外損益としてデリバティブ評価益21,345千円などを計上したことから経常利益は118,753千円(同79.9%増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は82,496千円(同85.3%増)となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

なお、前連結会計年度第4四半期よりコンサルティング事業を開始したため、コンサルティング事業については前年同四半期比較は行っておりません。

(コンタクトレンズ事業)

当社ブランド商品の売上高につきまして、クリアレンズは、当社主力商品であるシリコーンハイドロゲル素材コンタクトレンズ「SINCERE 1DAY S」が315,687千円(前年同四半期比10.8%増)、ドラッグストア専売コンタクトレンズである「EyeWell」シリーズは2WEEK EyeWellの取扱店舗数の増加などにより53,614千円(同20.4%増)と順調に拡大し722,088千円(同21.0%増)となりました。カラーレンズは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴う行動制限の緩和などに加え、2023年2月に「SINCERE 2WEEK S クレシェ」を発売したことや「SINCERE 1DAY S クレシェ」が58,116千円(同63.9%増)と大幅に増加したことなどにより149,084千円(同12.0%増)となりました。一方、プライベートブランド商品の売上高につきまして、クリアレンズは、新規案件の獲得があったものの販売各社における販売計画の遅延などにより376,415千円(同18.4%減)となりました。カラーレンズは、一部商品の販売が好調に推移したことなどにより322,370千円(同96.1%増)となりました。その結果、コンタクトレンズ事業の売上高は1,569,959千円(同15.8%増)となりました。セグメント利益は、積極的な広告宣伝及び販売促進活動を実施したことに加え荷造運賃などの変動費が増加したものの、売上高の増加が寄与し140,550千円(同49.4%増)となりました。

(コンサルティング事業)

コンサルティング事業につきましては、今後、大きな成長が見込まれる自由診療クリニックのコンサルティング事業に進出することを目的に、株式会社フォー・アイズよりクリニック運営に関するコンサルティング事業を譲り受け2022年12月より事業を開始しております。自由診療クリニックとのコンサルティング契約に基づき売上高は15,000千円、セグメント利益は3,525千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は3,854,644千円となり、前連結会計年度末に比べ503,970千円増加いたしました。これは主に前渡金が73,285千円減少したものの、商品が396,047千円、受取手形及び売掛金が111,320千円それぞれ増加したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は222,292千円となり、前連結会計年度末に比べ3,870千円減少いたしました。これは主に無形固定資産の「その他」に含まれるソフトウェアが8,329千円増加したものの、繰延税金資産が10,432千円減少したことによるものであります。

この結果、資産合計は4,076,937千円となり、前連結会計年度末に比べ500,099千円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は1,484,886千円となり、前連結会計年度末に比べ521,311千円増加いたしました。これは主に未払法人税等が39,860千円、「その他」に含まれる未払給与が26,251千円それぞれ減少したものの、短期借入金が300,000千円、買掛金が254,699千円それぞれ増加したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は531,917千円となり、前連結会計年度末に比べ93,637千円減少いたしました。これは主に長期借入金が55,371千円、デリバティブ債務が38,325千円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は2,016,803千円となり、前連結会計年度末に比べ427,674千円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は2,060,133千円となり、前連結会計年度末に比べ72,425千円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益82,496千円の計上及び剰余金の配当25,207千円により利益剰余金が57,288千円増加したほか、繰延ヘッジ損益が16,197千円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は50.5%（前連結会計年度末は55.6%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2023年2月14日の「2022年12月期決算短信」で公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,132,650	1,127,972
受取手形及び売掛金	983,095	1,094,415
商品	845,434	1,241,482
貯蔵品	71,087	82,203
前渡金	73,285	—
未収還付法人税等	577	577
デリバティブ債権	—	2,122
外国為替差入証拠金	212,969	234,366
その他	95,081	135,248
貸倒引当金	△63,506	△63,745
流動資産合計	3,350,673	3,854,644
固定資産		
有形固定資産	30,796	30,128
無形固定資産		
のれん	40,655	39,630
その他	8,516	16,846
無形固定資産合計	49,172	56,477
投資その他の資産		
繰延税金資産	99,059	88,627
その他	47,214	47,139
貸倒引当金	△79	△79
投資その他の資産合計	146,194	135,686
固定資産合計	226,163	222,292
資産合計	3,576,837	4,076,937

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	71,634	326,333
短期借入金	350,000	650,000
1年内返済予定の長期借入金	208,152	208,152
未払法人税等	75,714	35,853
賞与引当金	11,970	29,889
株主優待引当金	6,800	—
デリバティブ債務	4,243	—
その他	235,059	234,657
流動負債合計	963,574	1,484,886
固定負債		
長期借入金	538,663	483,292
長期預り保証金	13,000	13,000
デリバティブ債務	73,891	35,566
その他	—	59
固定負債合計	625,554	531,917
負債合計	1,589,129	2,016,803
純資産の部		
株主資本		
資本金	273,422	273,422
資本剰余金	321,149	321,149
利益剰余金	1,761,037	1,818,325
自己株式	△352,302	△352,302
株主資本合計	2,003,307	2,060,595
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△4,828	11,368
為替換算調整勘定	△10,770	△11,830
その他の包括利益累計額合計	△15,599	△461
純資産合計	1,987,707	2,060,133
負債純資産合計	3,576,837	4,076,937

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
売上高	1,355,478	1,584,959
売上原価	992,350	1,120,162
売上総利益	363,128	464,796
販売費及び一般管理費	325,171	371,523
営業利益	37,956	93,273
営業外収益		
受取利息	263	8,693
為替差益	2,382	—
デリバティブ評価益	25,235	21,345
その他	1,379	379
営業外収益合計	29,259	30,417
営業外費用		
支払利息	993	1,527
為替差損	—	2,787
その他	197	622
営業外費用合計	1,191	4,936
経常利益	66,025	118,753
特別損失		
固定資産除却損	130	—
特別損失合計	130	—
税金等調整前四半期純利益	65,895	118,753
法人税、住民税及び事業税	26,939	32,914
法人税等調整額	△5,572	3,342
法人税等合計	21,366	36,257
四半期純利益	44,528	82,496
親会社株主に帰属する四半期純利益	44,528	82,496

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	44,528	82,496
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	89,507	16,197
為替換算調整勘定	△1,992	△1,060
その他の包括利益合計	87,515	15,137
四半期包括利益	132,043	97,633
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	132,043	97,633
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報及び収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	コンタクトレ ンズ事業	コンサルティ ング事業	計		
売上高					
コンタクトレンズ					
当社ブランド					
クリアレンズ	596,560	—	596,560	—	596,560
カラーレンズ	133,148	—	133,148	—	133,148
プライベートブランド					
クリアレンズ	461,365	—	461,365	—	461,365
カラーレンズ	164,404	—	164,404	—	164,404
コンサルティング	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じる 収益	1,355,478	—	1,355,478	—	1,355,478
外部顧客への売上高	1,355,478	—	1,355,478	—	1,355,478
計	1,355,478	—	1,355,478	—	1,355,478
セグメント利益	94,048	—	94,048	△56,091	37,956

(注) 1. セグメント利益の調整額△56,091千円は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門に係る販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報及び収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	コンタクトレ ンズ事業	コンサルティ ング事業	計		
売上高					
コンタクトレンズ					
当社ブランド					
クリアレンズ	722,088	—	722,088	—	722,088
カラーレンズ	149,084	—	149,084	—	149,084
プライベートブランド					
クリアレンズ	376,415	—	376,415	—	376,415
カラーレンズ	322,370	—	322,370	—	322,370
コンサルティング	—	15,000	15,000	—	15,000
顧客との契約から生じる 収益	1,569,959	15,000	1,584,959	—	1,584,959
外部顧客への売上高	1,569,959	15,000	1,584,959	—	1,584,959
計	1,569,959	15,000	1,584,959	—	1,584,959
セグメント利益	140,550	3,525	144,076	△50,803	93,273

(注) 1. セグメント利益の調整額△50,803千円は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門に係る販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度において株式会社フォー・アイズよりクリニック運営に関するコンサルティング事業を譲り受けたことに伴い、「コンタクトレンズ事業」の単一セグメントから「コンタクトレンズ事業」「コンサルティング事業」の2区分に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。